



故 筧敏生助教授

略 歴

昭和 33 年 7 月	愛知県で生まれる。
昭和 57 年 3 月	名古屋大学文学部史学科卒業（文学士）
昭和 59 年 3 月	名古屋大学大学院文学研究科史学地理学専攻博士 前期課程修了（文学修士）
昭和 63 年 3 月	名古屋大学大学院文学研究科史学地理学専攻博士 後期課程単位取得満期退学
平成 6 年 6 月	名古屋大学文学部専任講師
平成 9 年 4 月	神奈川大学外国語学部助教授
平成 11 年 4 月	神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科担当

【主な著書】

『岐阜県の歴史』（共著）平成 12 年 山川出版社

【主な学術論文】

藤原宮子の大夫人号について 昭和 58 年『日本歴史』第 423 号
広嗣の乱後の遷都をめぐる二・三の問題 昭和 63 年『続日本紀研究』
第 256 号
霊亀青苗薄子の成立 昭和 63 年『ヒストリア』第 121 号
百済王姓の成立と日本古代帝国 平成元年『日本史研究』第 317 号
耽羅王権と日本 平成元年『続日本紀研究』第 262 号
律令国家祭祀と大宝神祇令——弘仁式祭祀大中小条をめぐる——
平成 2 年『ヒストリア』第 127 号
古代王権と律令国家機構の再編——蔵人所成立の意義と前提——
平成 3 年『日本史研究』第 344 号
中世の太上天皇について 平成 4 年『年報中世史研究』第 17 号
古代太上天皇研究の現状と課題 平成 4 年『古代史研究』第 11 号
律令官司制の成立と品部・雑戸制 平成 6 年『日本書記研究』第 19 冊
太上天皇尊号宣下制の成立 平成 6 年『史学雑誌』第 103 編第 12 号
藤原仲麻呂政権期の尊号について 平成 8 年『名古屋大学文学部研究
論集』史学 42
飛騨匠伝説形成論 平成 8 年『古代王権と交流』第 4 巻
宣命の歴史的位位置と日本古代王権 平成 9 年『名古屋大学文学部研究
論集』史学 43
神・天皇への拍手儀礼 平成 12 年『ヒストリア』第 168 号
東アジアにおける跪礼の伝統と忌避意識 平成 13 年『日本歴史』第 640
号